

1 3. まちづくりアクション

2 まちづくりアクションは、基本理念「みんなの未来ビジョン」の実現に向けて、本市が
3 重点的に推進する政策間連携の取組です。人口減少対策や子育て支援、地域コミュ
4 ニティの維持・活性化、行政運営の高度化など、9 つのまちづくりアクションを設定し
5 ました。

6 ※各まちづくりアクションには、政策間連携による効果を定量的に把握するため、
7 重要目標達成指標(KGI)と関連する地域幸福度(Well-being)指標を設定し
8 ています。これらの指標については、行政評価の中で進捗管理を行います。

9

10

11 コラム 地域幸福度指標とは

12 国では、市民目線による豊かさの尺度に、EBPM の考え方を組み合わせて、様々
13 な政策や施策等による効果を Well-being の向上という観点から把握・分析・検証
14 するための全国共通の指標として、「地域幸福度指標」の普及を進めています。

15 「地域幸福度指標」は、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート が各種国
16 際指標や学術研究による知見などをもとに、市民が感じる幸福感や生活満足度など
17 を数値化・可視化するために作成・開発・公開しているもので、市民を対象としたアン
18 ケートによる主観指標と、各種統計等に基づく客観指標を組み合わせ、「医療・福
19 祉」、「子育て」、「環境共生」、「雇用・所得」など、市民の幸福感や生活満足度などと
20 一定の相関関係にある 24 のカテゴリで数値化されています。

21 各カテゴリの数値は、全国の自治体 の平均を 50 とした偏差値で表されてお
22 り、各自治体の個性や特色、弱点、さらには、統計等には現れない市民の生活実感や

Ⅲ 基本計画

1 評価なども全国共通の指標で把握することができます。また、基礎データである市民
2 アンケートは毎年行われるほか、各種統計等も都度更新されるため、経年比較も可
3 能となっており、Well-being の向上という観点から、様々な政策や施策等による効
4 果や事業手法の検討、新たな政策の立案の基礎資料として利用することができます。

5 本市においても、地域全体における Well-being 向上に向けて、「地域幸福度指
6 標」に関する市民ワークショップや市職員向け研修会を開催したほか、「第3期会津若
7 松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証のための指標の一つとして活用す
8 るなど、全国に先駆けて取組を進めてきました。

9

10

11

12

13

14

15

16

17

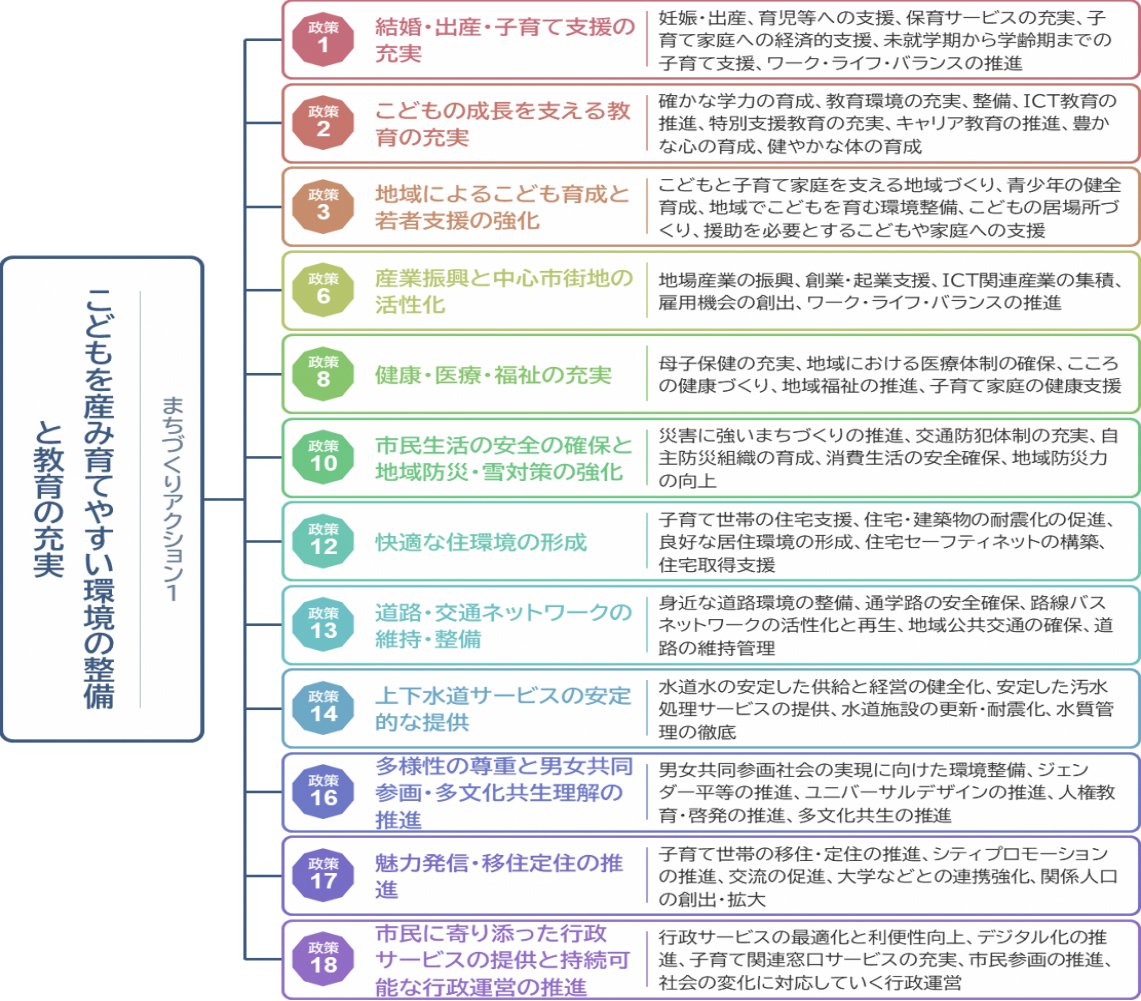
18

19

20

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション1 こどもを産み育てやすい環境の整備と教育の充実
- 2 本市では、人口減少と少子高齢化が進行する中で、将来の地域を支える人材を育
- 3 み、定着につなげていくことが重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、安
- 4 心してこどもを産み育てられる環境や生活基盤づくりと、次代を担うこどもたちの学
- 5 びと育ちを地域全体で支える取組を推進します。

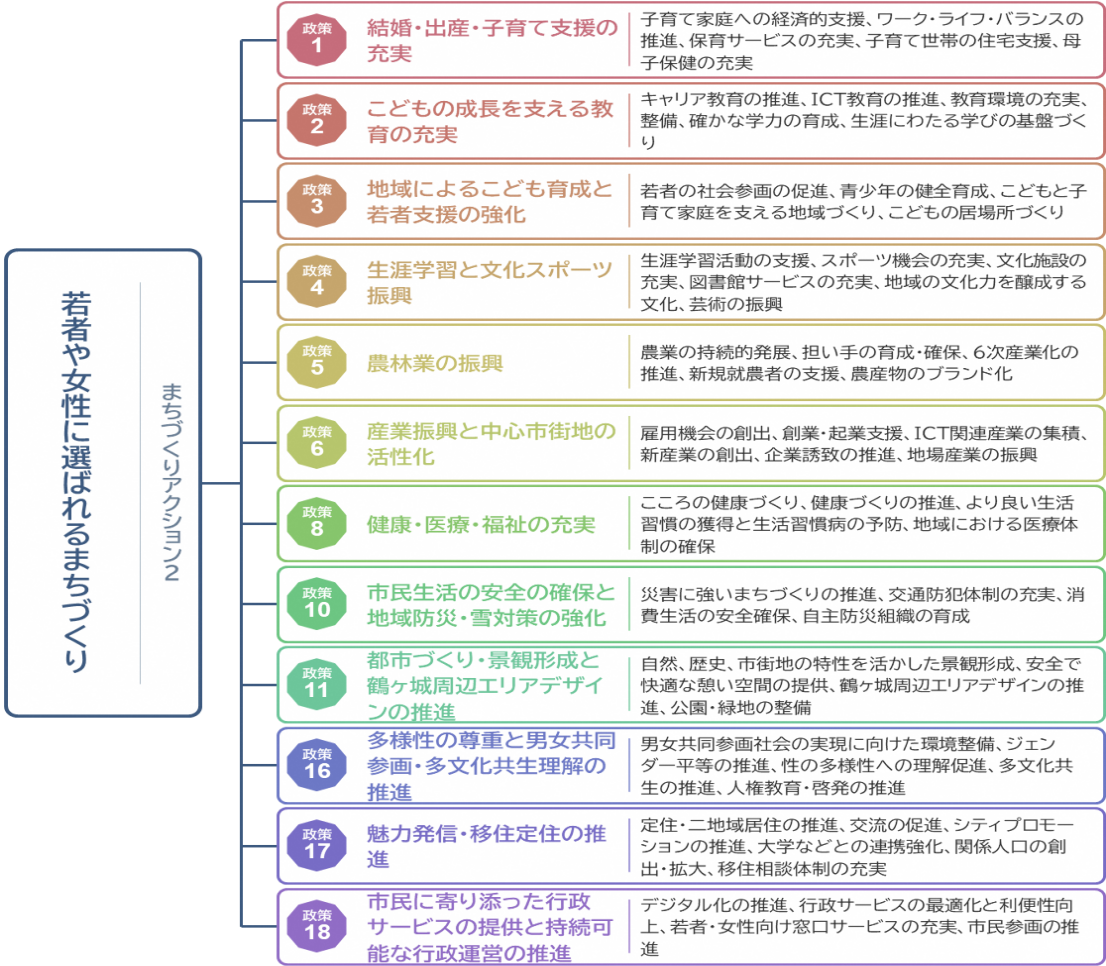


種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	希望出生率(%)			
	子育て世帯のUIJターン者数(人)			
	学力テストの全国比較値(点)			
	学校が好きな児童生徒の割合(%)			
LWC指標(主観)	子育て支援が手厚い(%)			
	こどもがいきいきと暮らせる(%)			
	小中高校が整っている(%)			

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション2 若者や女性に選ばれるまちづくり
- 2 本市では、進学や就職を契機とした若年層の流出が続いており、とりわけ若者や
- 3 女性にとって働く場、学ぶ機会、暮らしやすさの面で選ばれる地域となることが求め
- 4 られています。これらのことから、若者や女性にとって、多様な挑戦や自己実現が可
- 5 能で、将来にわたり本市で暮らし、活躍したいと思えるまちづくりを推進します。

6



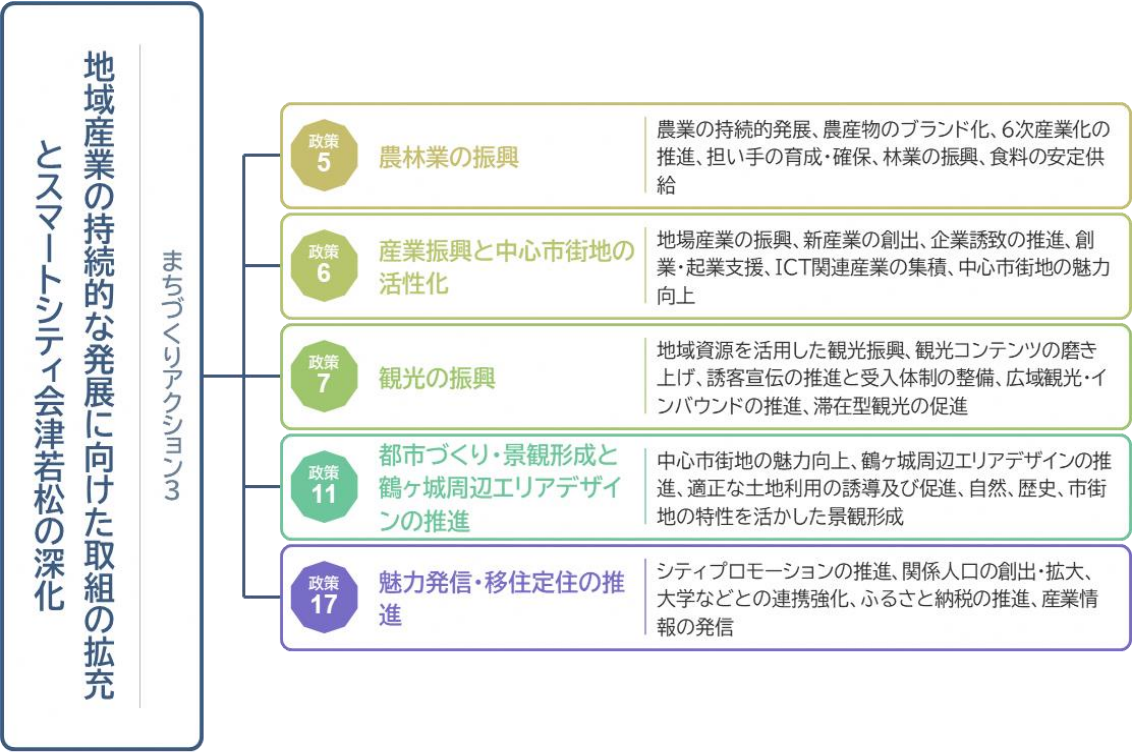
7

種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	15～19歳⇒20歳～24歳の純移動率の縮小(%)			
	定住者数(人)			
	転入者数(人)			
	若者世代の地元企業就職率(%)			
LWC指標(主観)	若い人が活躍しやすい(%)			
	女性が活躍しやすい(%)			
	学べる機会(%)			

Ⅲ 基本計画

1 まちづくりアクション3 地域産業の持続的な発展に向けた取組の拡充とスマー
2 トシティ会津若松の深化

3 本市の地域産業は、人口減少に伴う市場縮小や担い手不足に直面するとともに、
4 雇用の確保に加え、付加価値の向上や所得創出力の強化、さらにはスマートシティ会
5 津若松の取組を市民生活や地域経済の質の向上につなげていくことが課題となって
6 います。このため、産業の高度化、人材の育成・確保、デジタル技術の活用を一体的
7 に進め、地域産業の持続的な発展とスマートシティの深化が実感できる取組を推進
8 します。



種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	地域主要生産品目の出荷額(百万円)			
	起業者数(者)			
	新規取引先開拓数(件)			
LWC指標(主観)	やりたい仕事(%)			
	収入機会(%)			
	挑戦・成長(%)			

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション4 シビックプライドの創出と関係人口の拡大
- 2 人口減少が進む中で、地域の持続性を高めるためには、市民が本市の歴史、文
- 3 化、自然、産業などの地域資源に誇り(シビックプライド)を持ち、その魅力を内外に発
- 4 信するとともに、本市に継続的に関わる関係人口を増やしていくことが重要となって
- 5 います。これらのことから、地域への誇りと愛着を育むとともに、地域の中で多様な関
- 6 わりを創出していく取組を推進します。



種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	定住者数(人)			
	UIJターン者数(人)			
	ふるさと住民制度登録者数(人)			
	観光関連産業売上高(百万円)			
	観光産業における来訪者消費額(百万円)			
LWC指標(主観)	自慢できる自然景観がある(%)			
	文化等が盛んで誇らしい(%)			
	将来のためいい文化等を残したい(%)			

Ⅲ 基本計画

1 まちづくりアクション5 多様な主体の参画による地域コミュニティの維持・活性化

2 本市の地域コミュニティは、担い手の高齢化や負担増加などにより、従来の仕組み
3 だけでは支えきれない状況が生じつつあります。今後、地域のつながりを維持し、防
4 災や見守りなど地域に求められる役割を果たしていくため、多様な主体が参画し、新
5 たな協働の形が広がる地域づくりを推進します。

6

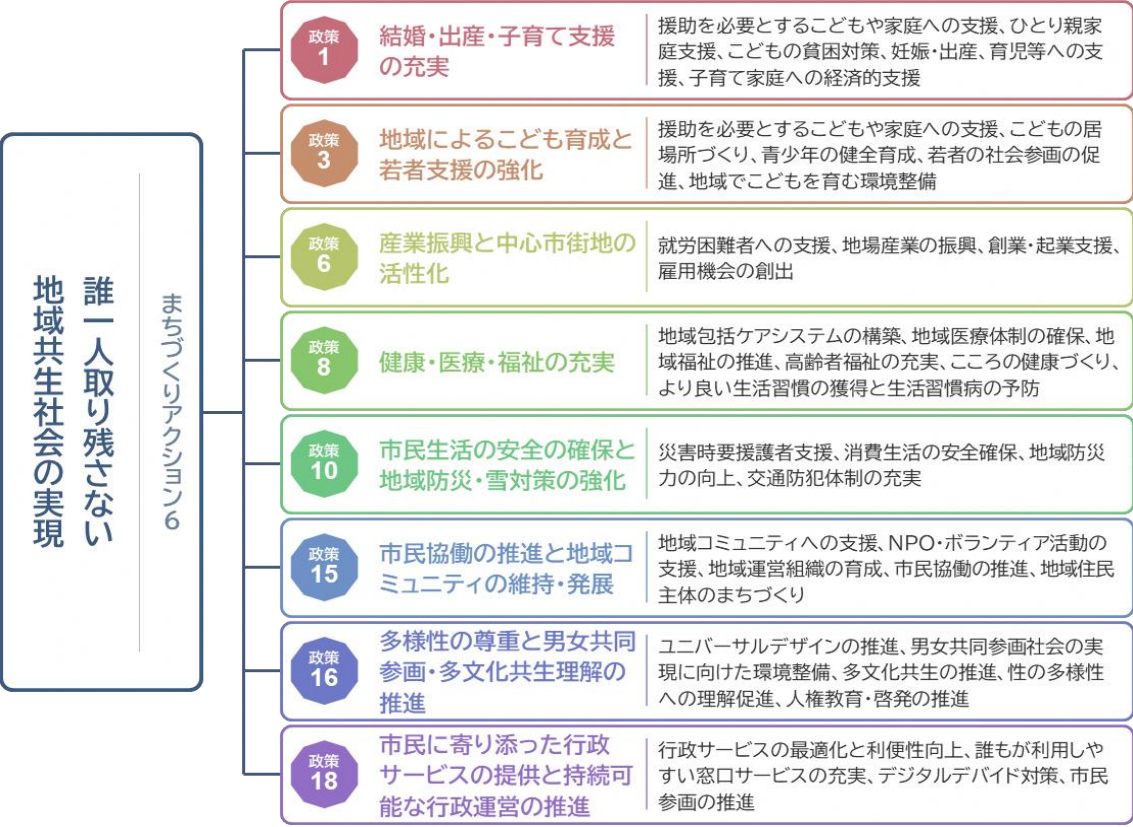


種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	各地区における定住率(%)			
	地域運営組織結成数(実施事業数)(団体)			
	地域での定住化意向率(%)			
LWC指標(主観)	コミュニティ活動が盛ん(%)			
	町内どんな人の意見も受け入れる(%)			
	町内に対して愛着(%)			

7

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション6 誰一人取り残されない地域共生社会の実現
- 2 少子高齢化の進行や市民ニーズの複雑化・複合化が進む中、年齢や性別、障がい
- 3 の有無、国籍などにかかわらず、誰もが地域の中で安心して暮らし続けられる環境づ
- 4 くりが一層重要となっています。また、外国人住民の増加など地域社会を構成する
- 5 人々の多様化も進んでいます。これらのことから、互いに支え合いながら、誰一人取
- 6 り残されない包摂的な地域共生社会の実現に向けた取組を推進します。



種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	住民の健康寿命の延伸(歳)			
	介護や支援を必要としない高齢者の割合(%)			
	定住化意向率(%)			
LWC指標(主観)	介護福祉サービスが良い(%)			
	町内の人を手助け(%)			
	精神的に健康(%)			

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション7 環境負荷の低減と豊かな自然環境の継承
- 2 気候変動の影響が顕在化する中で、脱炭素・循環型社会の形成に加え、エネルギー
- 3 価格の変動や災害時の供給継続性も見据えた環境・エネルギー面の自立性の向
- 4 上が、本市の持続可能性を高める上で重要な課題となっています。これらのことか
- 5 ら、環境負荷の低減を進め、環境と共生するとともに、豊かな自然環境を次の世代へ
- 6 継承していくための取組を推進します。
- 7

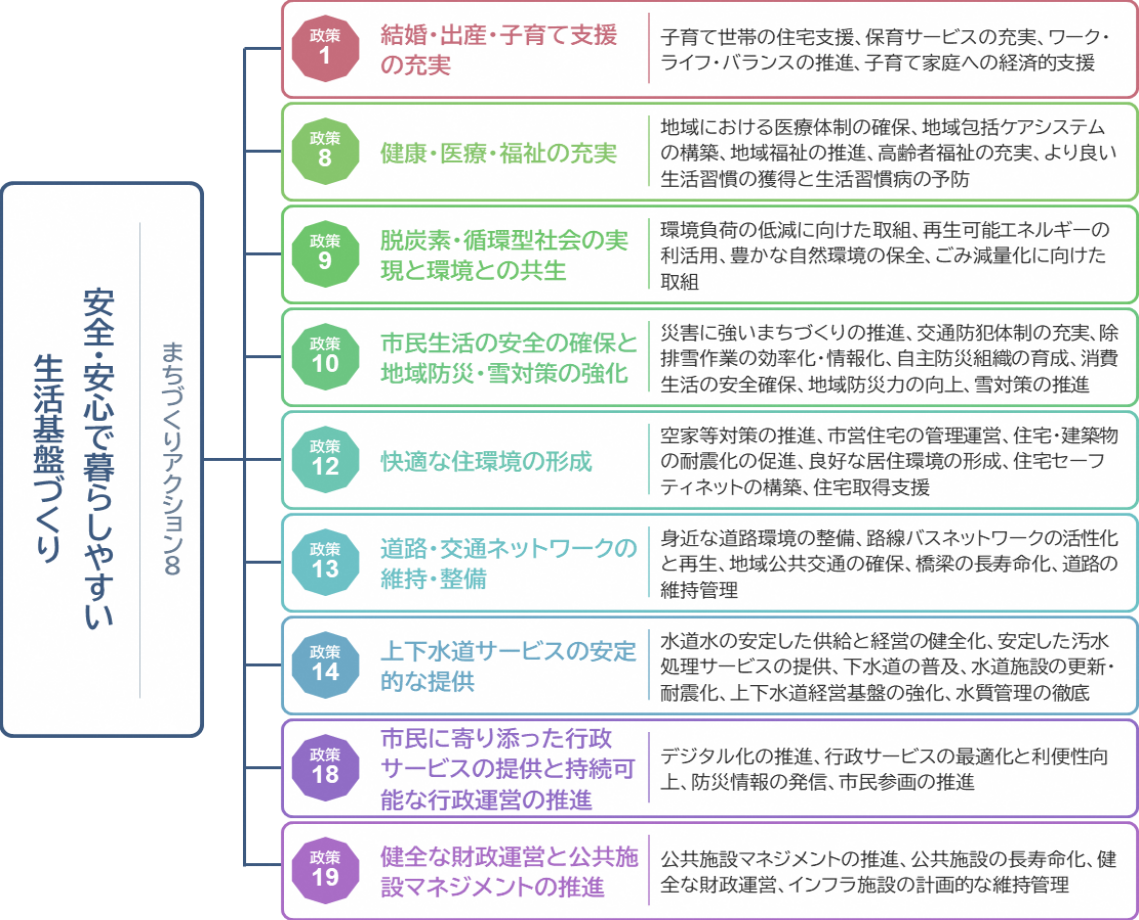


種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	ごみの総排出量(t)			
	最終処分量(t)			
	CO2排出量(t-CO2)			
	森林計画策定数(件)			
LWC指標(主観)	身近に自然を感じる(%)			
	自慢できる自然景観がある(%)			
	リサイクル等環境への取組みが良い(%)			

Ⅲ 基本計画

1 まちづくりアクション8 安全・安心で暮らしやすい生活基盤づくり

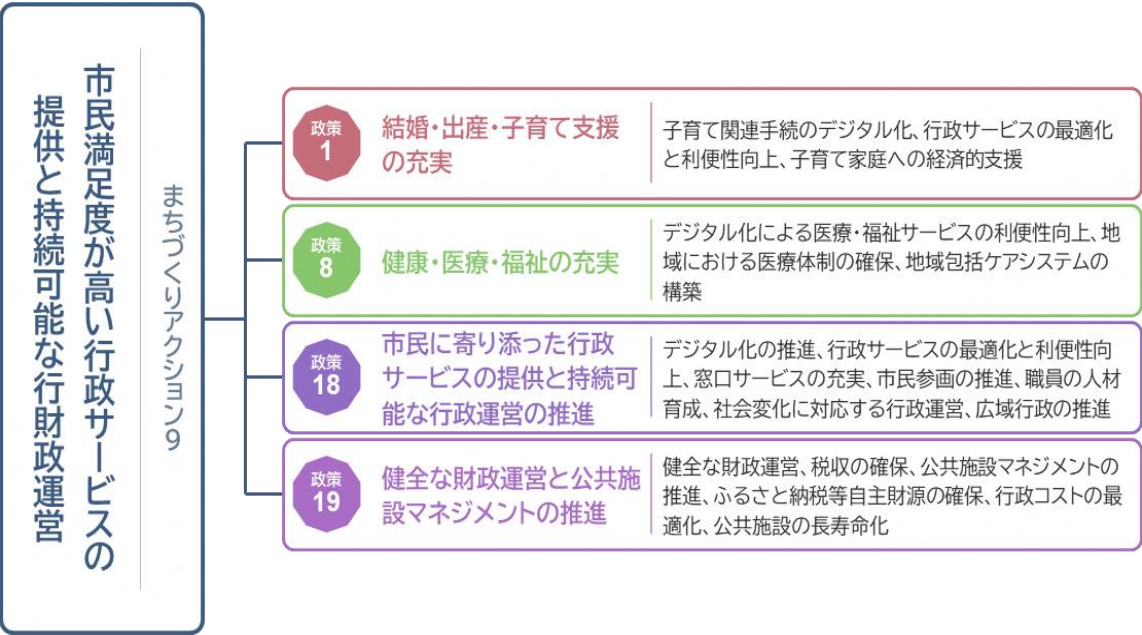
2 本市では、地震や洪水、豪雪など多様な自然災害への備えが求められており、気
3 候変動の影響等により災害リスクは一層高まっています。また、高齢化の進行により
4 要配慮者への対応や避難支援の重要性も増しています。これらのことから、地域の
5 支え合いにより、日常の暮らしやすさが確保され、非常時にも的確に対応できる生活
6 基盤づくりを推進します。



種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	交通事故発生件数(年間)(件)			
	犯罪発生(刑法犯認知)件数(年間)(件)			
	自主防災組織組織率(%)			
	地域と連携した除雪困難世帯の支援体制が整った町内会の数(団体)			
LWC指標(主観)	防災対策がしっかり(%)			
	防犯対策・治安がいい(%)			
	公共交通の移動が良い(%)			

Ⅲ 基本計画

- 1 まちづくりアクション9 市民満足度が高い行政サービスの提供と持続可能な行財
- 2 政運営
- 3 人口減少や高齢化の進行により、今後は税収の構造的な減少や扶助費の増加、公
- 4 共施設・インフラの維持更新負担の増大が見込まれる中、市民ニーズの複雑化・多様
- 5 化にも対応しながら従来型の行政運営を転換していくことが課題となっています。こ
- 6 れらのことから、市民協働、官民連携、広域連携、行政 dXなどを組み合わせ、将来
- 7 への投資と健全な財政運営を両立しながら、持続可能な自治体経営を推進します。



種別	指標	現状値(R7)	中間目標値(R13)	目標値(R18)
重要目標達成指標	窓口サービスの住民満足度(%)			
	住民のデジタル申請利用率(%)			
	実質公債費率(%)			
LWC指標(主観)	行政サービスのデジタル化が良い(%)			
	公共施設は使い勝手が良い(%)			
	行政は真剣に考えている(%)			